

3 配偶者からの被害経験

(1) 被害経験の有無

これまでに結婚したことのある人（2,598人）に、“なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた”（以下、“身体的暴行”）、“人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた”（以下、“心理的攻撃”）、“いやがっているのに性的な行為を強要された”（以下、“性的強要”）の3つの行為をあげ、それぞれの行為について、配偶者から被害を受けたことがあるかを聞いた。

“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”のいずれかについて配偶者から被害を受けたことがある人をまとめると、『あった』が26.2%となっている（「何度もあった」7.3%と「1、2度あった」18.9%の計）。

それぞれの行為について、被害経験が『あった』割合をみると、“身体的暴行”が20.1%、“心理的攻撃”が14.0%、“性的強要”が9.2%となっている。（図3-1-1）

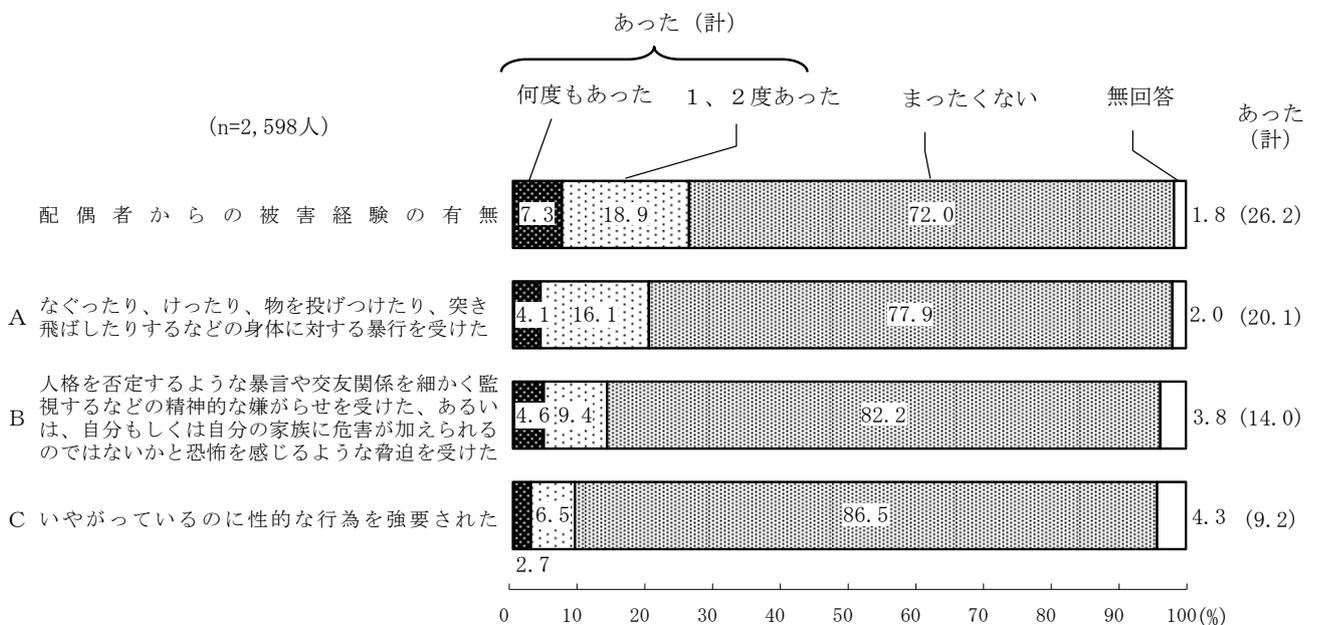
【これまでに結婚したことのある方にお聞きします。】

問5 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。

この調査では、「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚を解消した相手）も含まれます。

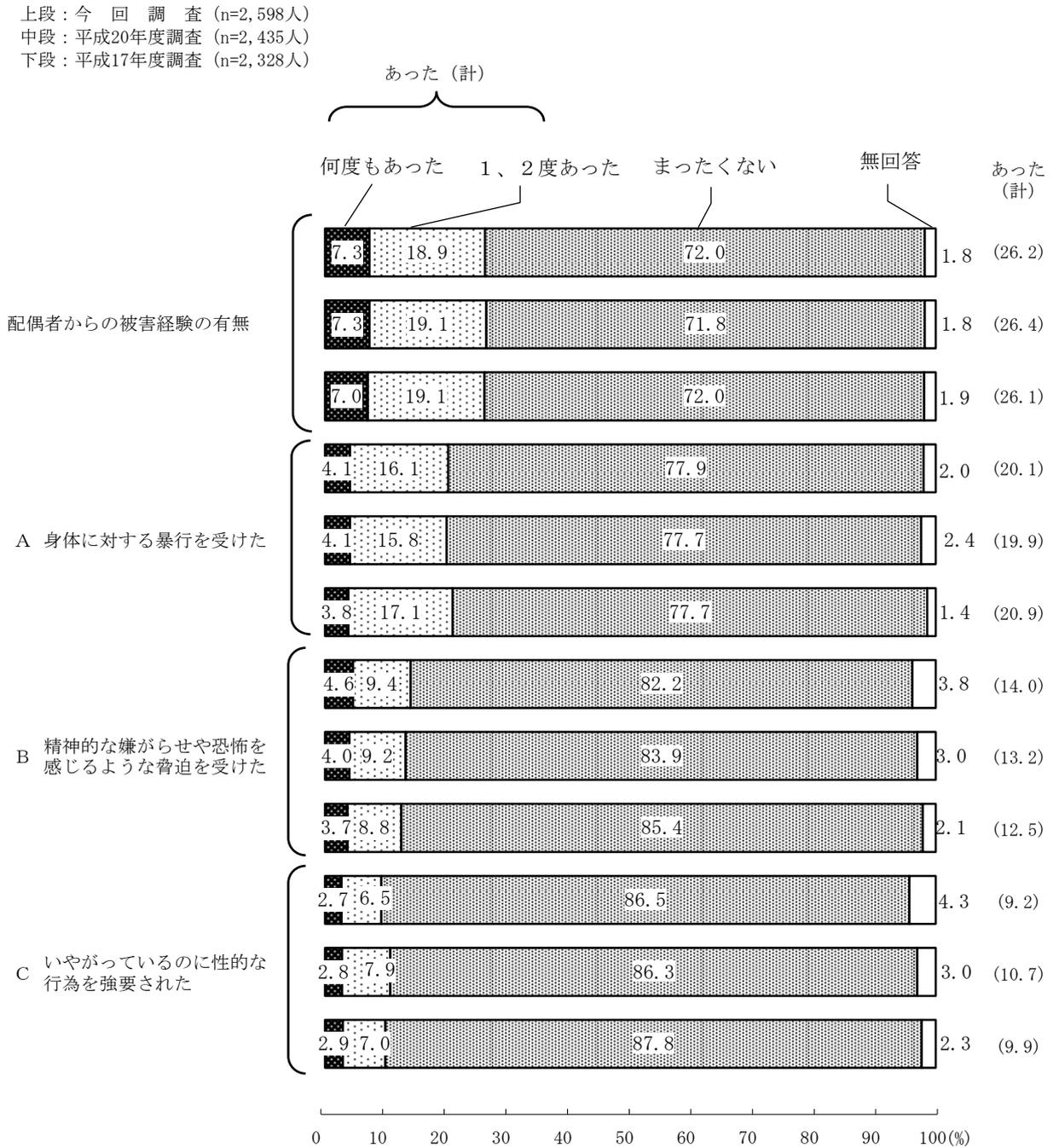
A～Cのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。
（○はそれぞれ1つずつ）

図3-1-1 配偶者からの被害経験の有無



時系列比較でみると、配偶者からの暴力の被害経験の有無に大きな変化はみられない。
 (図 3-1-2)

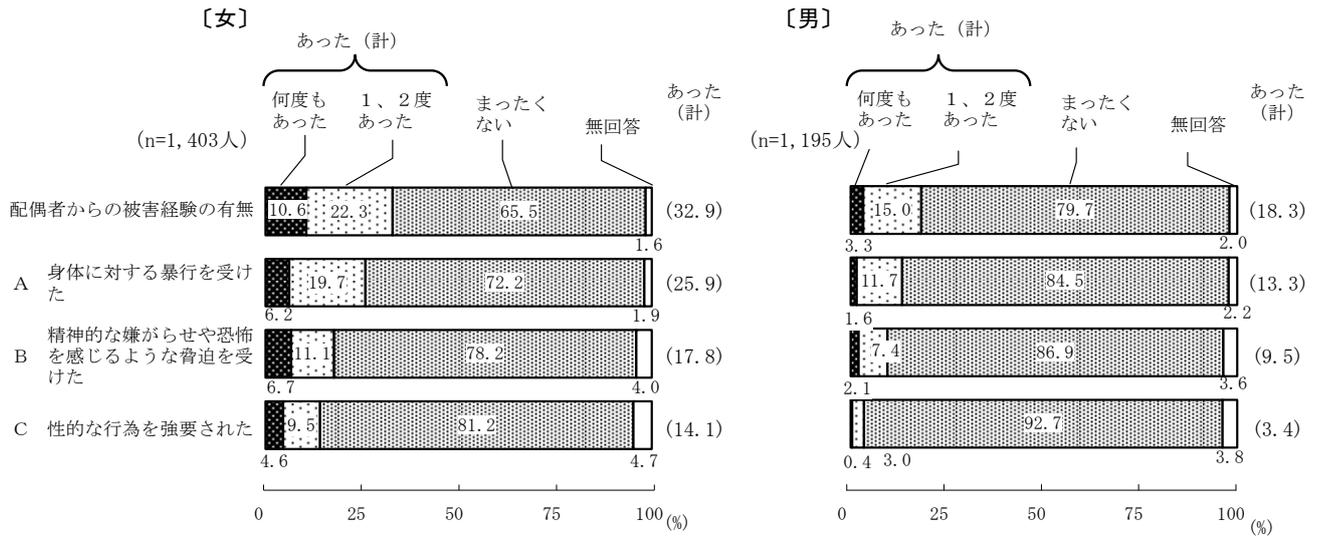
図3-1-2 配偶者からの被害経験の有無 — 時系列比較



配偶者からの被害経験を男女別にみると、被害経験が『あった』は女性が 32.9%、男性が 18.3%となっている。

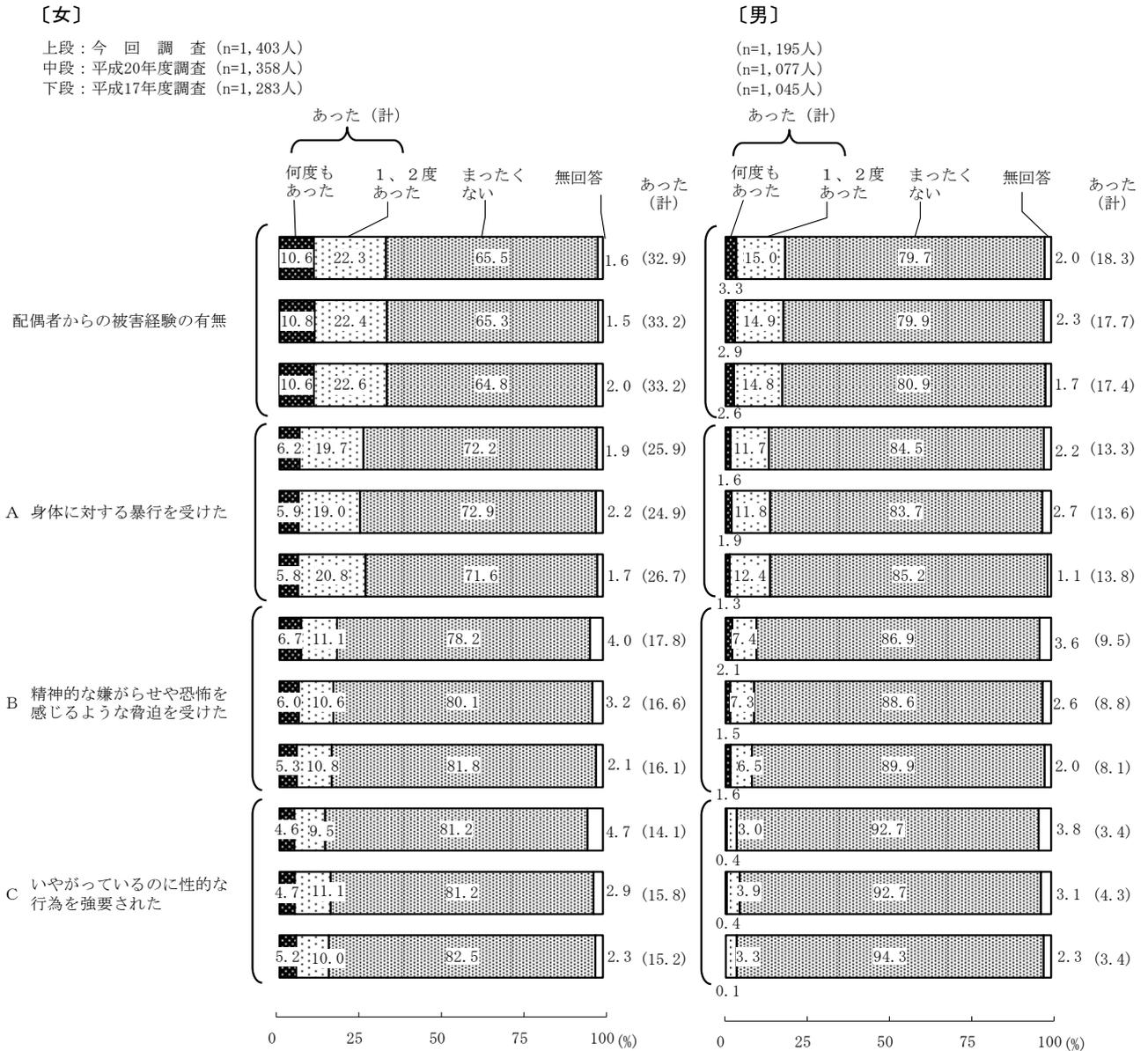
それぞれの行為について、被害経験が「あった」は、“身体的暴行”では女性が 25.9%、男性が 13.3%、“心理的攻撃”では女性が 17.8%、男性が 9.5%、“性的強要”では、女性が 14.1%、男性が 3.4%となっている。いずれの行為も、女性の方が被害経験者の割合が高くなっている。(図 3-1-3)

図 3-1-3 配偶者からの被害経験の有無(男女別)



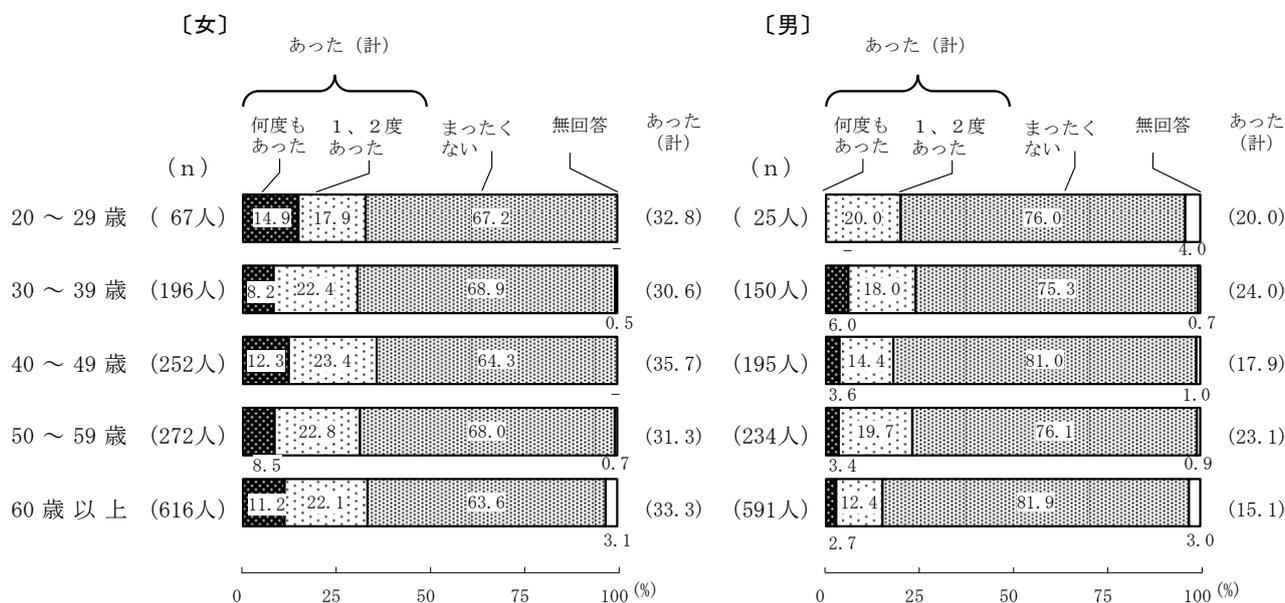
男女別に時系列比較でみると、配偶者からの被害経験の有無に大きな変化はみられない。(図 3-1-4)

図3-1-4 配偶者からの被害経験の有無(男女別) - 時系列比較



さらに性・年齢階級別に配偶者からの被害経験をみると、女性はいずれの年齢階級でも被害経験者が3割を超えている。(図3-1-5)

図3-1-5 配偶者からの被害経験の有無(性・年齢階級別)



配偶者からこれまでに被害を受けたことがある人(681人)について、配偶者から受けた“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”の被害をみると、重複している人は47.3%となっている。男女別にみると、女性が53.5%、男性が34.2%となっている。(表3-1-1)

表3-1-1 配偶者からの被害の重複

配偶者からこれまでに被害を受けたことがある人				(%)
	総数	女	男	
n	681	462	219	
重複あり	47.3	53.5	34.2	
身体的暴行と心理的攻撃	18.9	18.8	19.2	
心理的攻撃と性的強要	3.4	3.9	2.3	
身体的暴行と性的強要	7.0	8.4	4.1	
身体的暴行・心理的攻撃・性的強要	17.9	22.3	8.7	
重複なし	52.7	46.5	65.8	
身体的暴行のみ	32.9	29.2	40.6	
心理的攻撃のみ	13.1	9.1	21.5	
性的強要のみ	6.8	8.2	3.7	

(2) 過去5年以内の被害経験

配偶者からこれまでに被害を受けたことがある人（681人）に、“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”の3つの行為をあげ、それぞれの行為について、過去5年以内の被害経験の有無を聞いた。

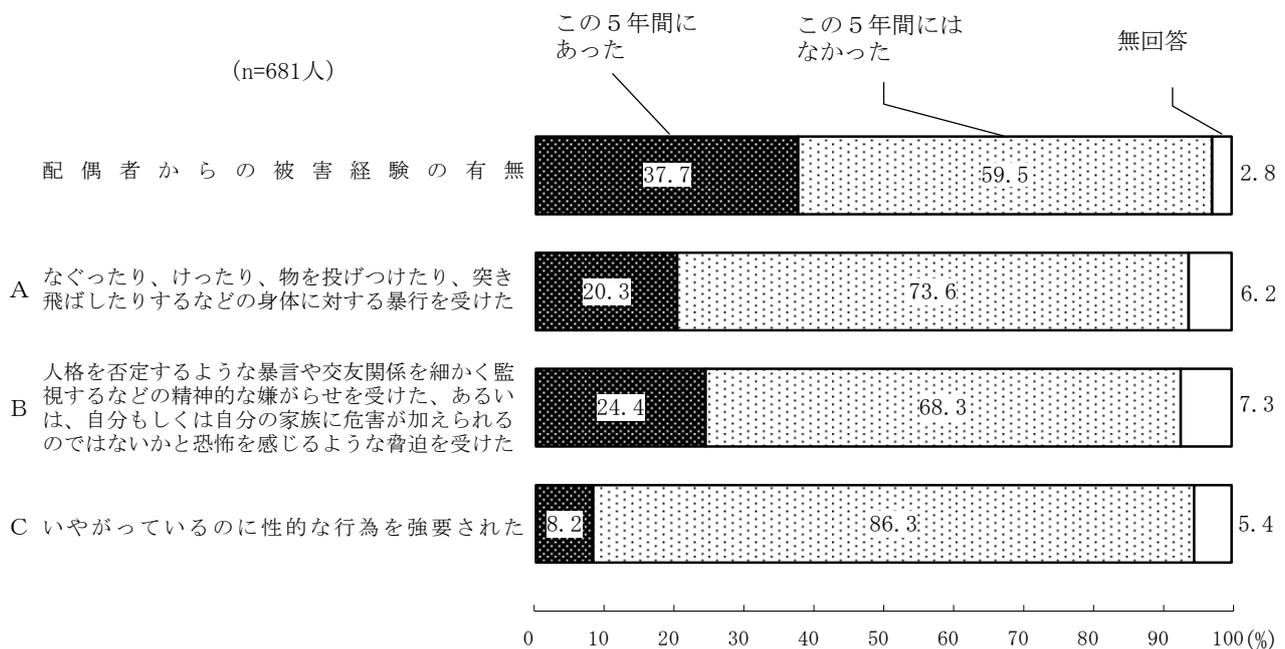
“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”のいずれかについて5年以内に被害を受けたことがある人をまとめると、「この5年間にあった」が37.7%となっている。

それぞれの行為について、「この5年間にあった」は、“身体的暴行”が20.3%、“心理的攻撃”が24.4%、“性的強要”が8.2%となっている。（図3-2-1）

【問6～問11は、問5でA～Cのうち1つでも、「1 1、2度あった」「2 何度もあった」と回答した方にお聞きします。問5でA～Cのすべてが「3 まったくない」という方は6ページの問12にお進みください。】

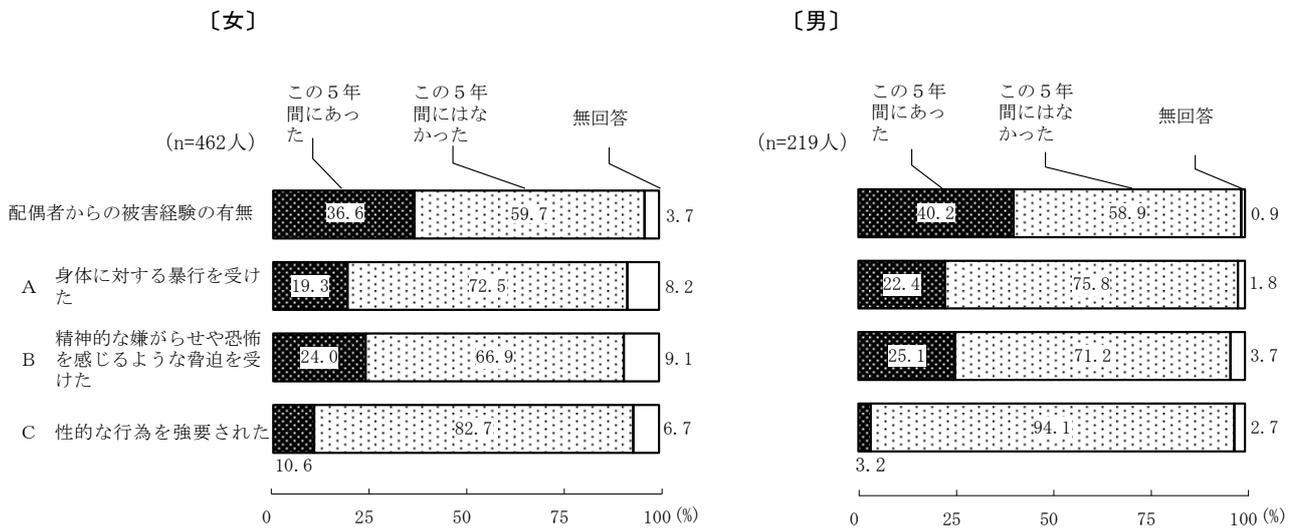
問6 では、この5年間は、どうでしたか。A～Cのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

図3-2-1 配偶者からの被害経験 — 過去5年以内



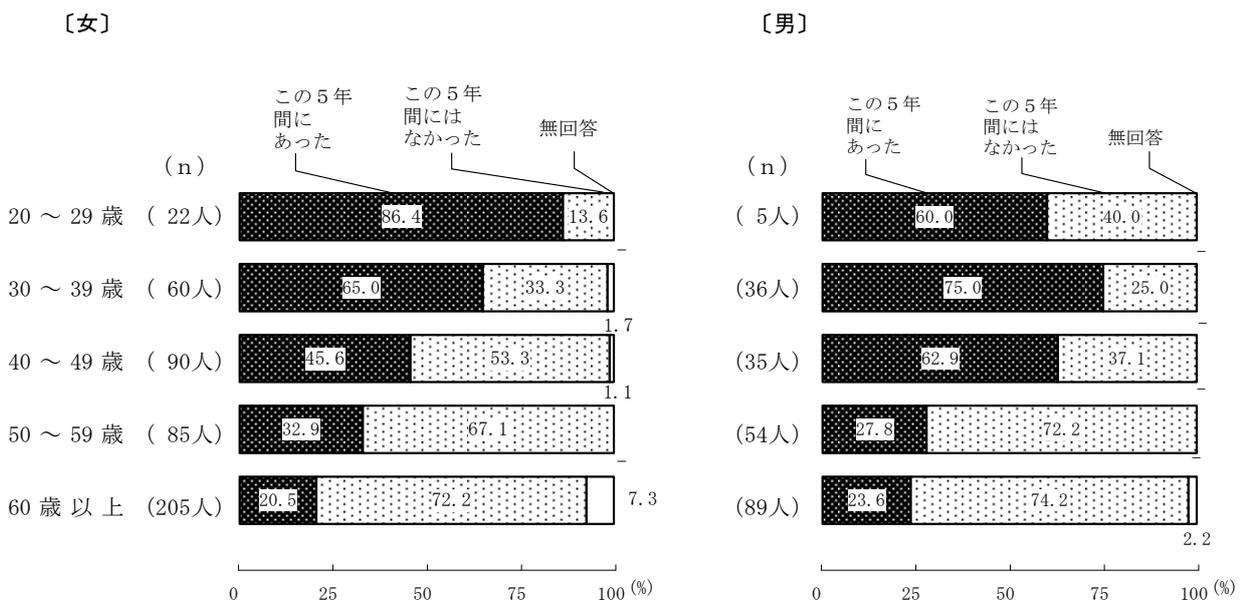
過去5年以内の被害経験を男女別にみると、女性ではいずれかの被害を5年以内に受けた人は36.6%、男性では40.2%となっている。(図3-2-2)

図3-2-2 配偶者からの被害経験 — 過去5年以内(男女別)



過去5年以内の被害経験を性・年齢階級別にみると、いずれかの被害を5年以内に受けた人の割合は、女性では年齢階級が低くなるほど高くなっている。(図3-2-3)

図3-2-3 配偶者からの被害経験 — 過去5年以内(性・年齢階級別)



過去5年以内に配偶者から被害を受けた人（257人）について、配偶者から受けた“身体的暴行”“心理的攻撃”“性的強要”の被害をみると、重複している人は30.4%となっている。男女別にみると、女性が34.9%、男性が21.6%となっている。（表3-2-1）

表3-2-1 配偶者からの被害の重複 — 過去5年以内

〔 過去5年以内に配偶者から被害を受けたことがある人 〕

(%)

	総数	女	男
n	257	169	88
重複あり	30.4	34.9	21.6
身体的暴行と心理的攻撃	15.2	14.8	15.9
心理的攻撃と性的強要	5.1	7.1	1.1
身体的暴行と性的強要	0.4	0.6	-
身体的暴行・心理的攻撃・性的強要	9.7	12.4	4.5
重複なし	69.6	65.1	78.4
身体的暴行のみ	28.4	24.9	35.2
心理的攻撃のみ	34.6	31.4	40.9
性的強要のみ	6.6	8.9	2.3

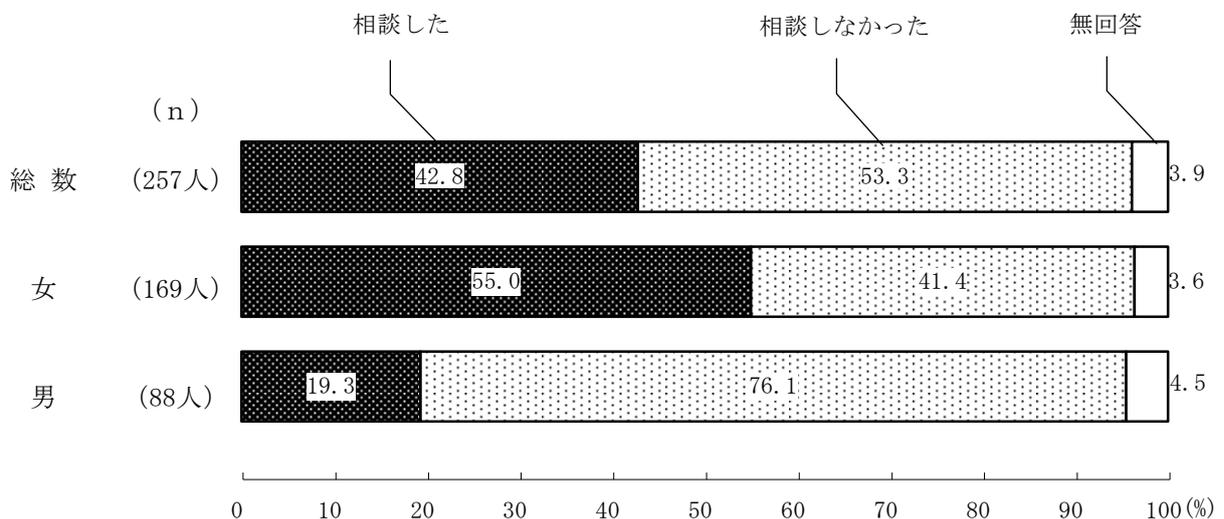
(3) 被害の相談先

過去5年以内に配偶者から被害を受けた人（257人）に、被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしたかを聞き、いずれかの相談先を回答した人の計を「相談した」とまとめた。「相談した」は42.8%で、女性は55.0%、男性は19.3%となっている。（図3-3-1）

【問6でA～Cのうち1つでも、「1 この5年間にあった」と回答した方にお聞きします。問6でA～Cのすべてが、「2 この5年間にはなかった」という方は次ページの問9にお進みください。】

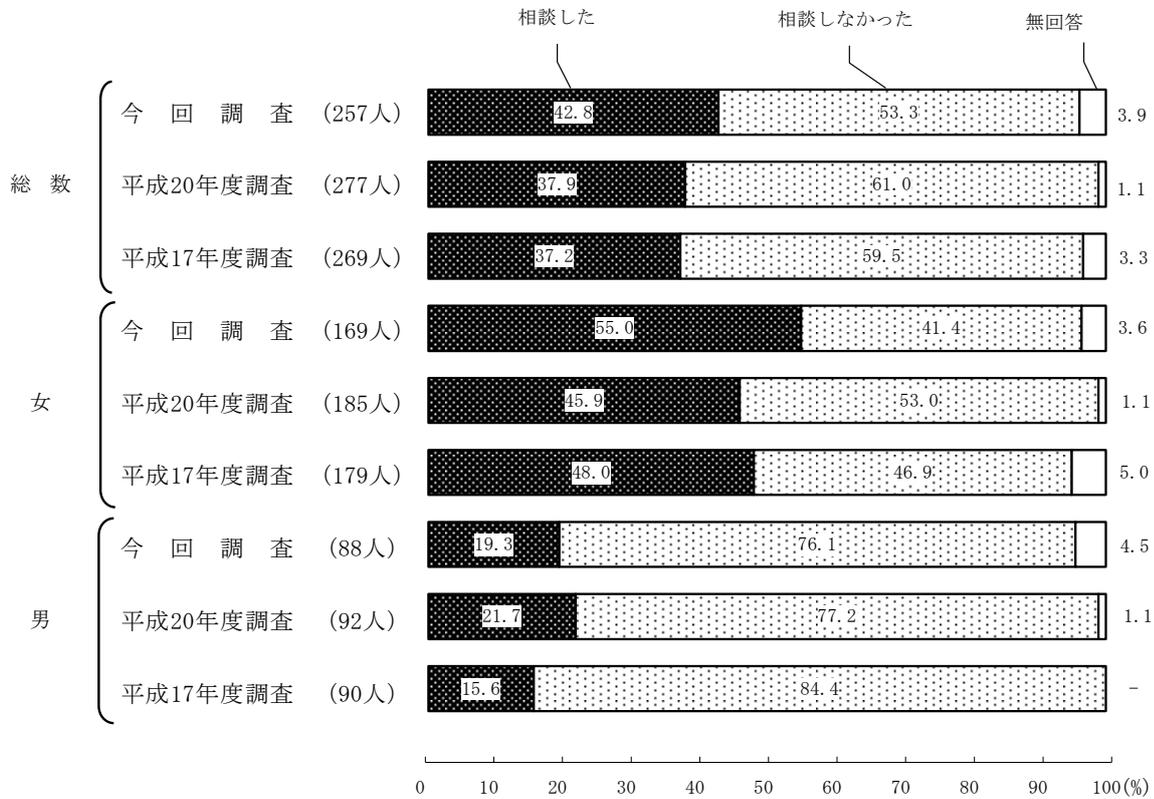
問7 あなたはこの5年の間に、あなたの配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-3-1 配偶者からの被害の相談の有無



時系列比較でみると、平成20年度調査よりも、女性で「相談した」が増えている。(図3-3-2)

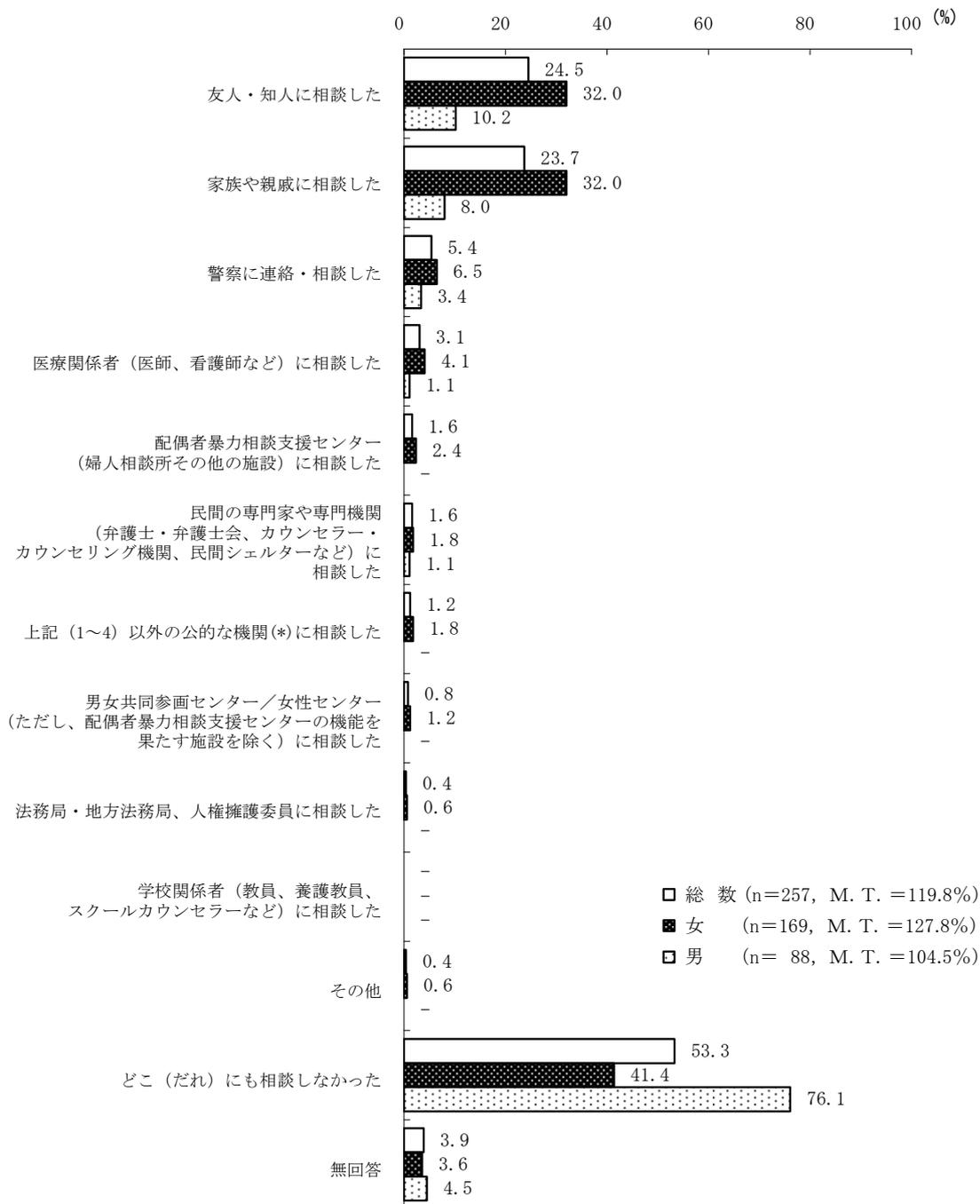
図3-3-2 配偶者からの被害の相談の有無 — 時系列比較



相談先をみると、「友人・知人に相談した」が24.5%と最も多く、「家族や親戚に相談した」が23.7%となっている。

男女別にみても、男女とも「友人・知人に相談した」が最も多くなっている。(図 3-3-3)

図 3-3-3 配偶者からの被害の相談先(複数回答)



*「上記(1~4)以外の公的な機関」とは、下記以外の公的な機関を指す。

1. 配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所その他の施設)
2. 警察
3. 法務局・地方法務局、人権擁護委員
4. 男女共同参画センター/女性センター(ただし、配偶者暴力相談支援センターの機能を果たす施設を除く)

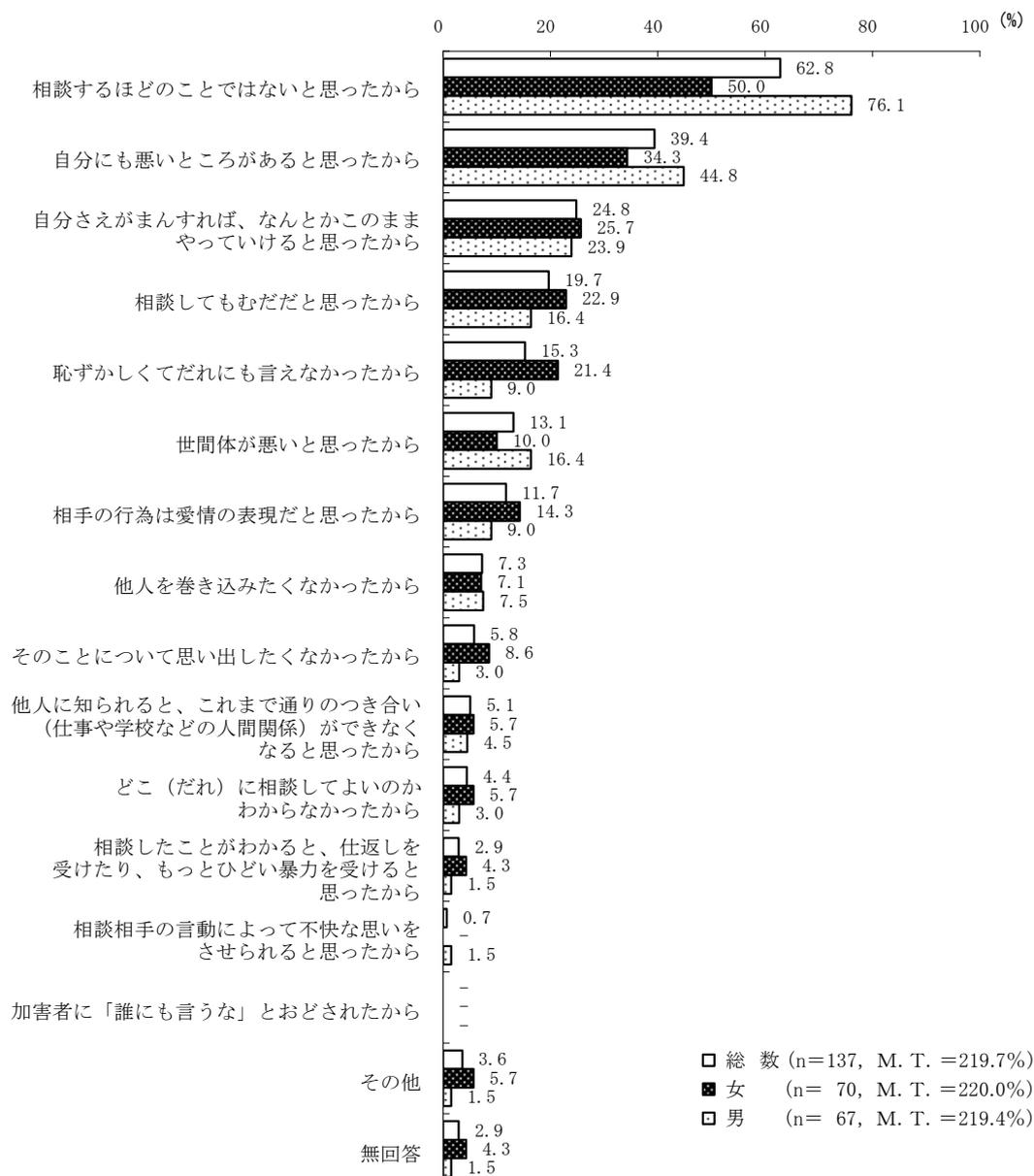
(4) 相談しなかった理由

配偶者から受けた被害について、どこ（だれ）にも相談しなかった人（137人）の相談しなかった理由をみると、「相談するほどのことではないと思ったから」が62.8%で最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」が39.4%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていたらと思ったから」が24.8%、「相談してもむだだと思ったから」が19.7%などとなっている。

男女別にみると、男女とも「相談するほどのことではないと思ったから」が最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」となっている。「相談するほどのことではないと思ったから」は、特に男性で多くあげられている。（図3-4-1）

【問7で「12 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方にお聞きします。】
 問8 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図3-4-1 配偶者からの被害を相談しなかった理由（複数回答）



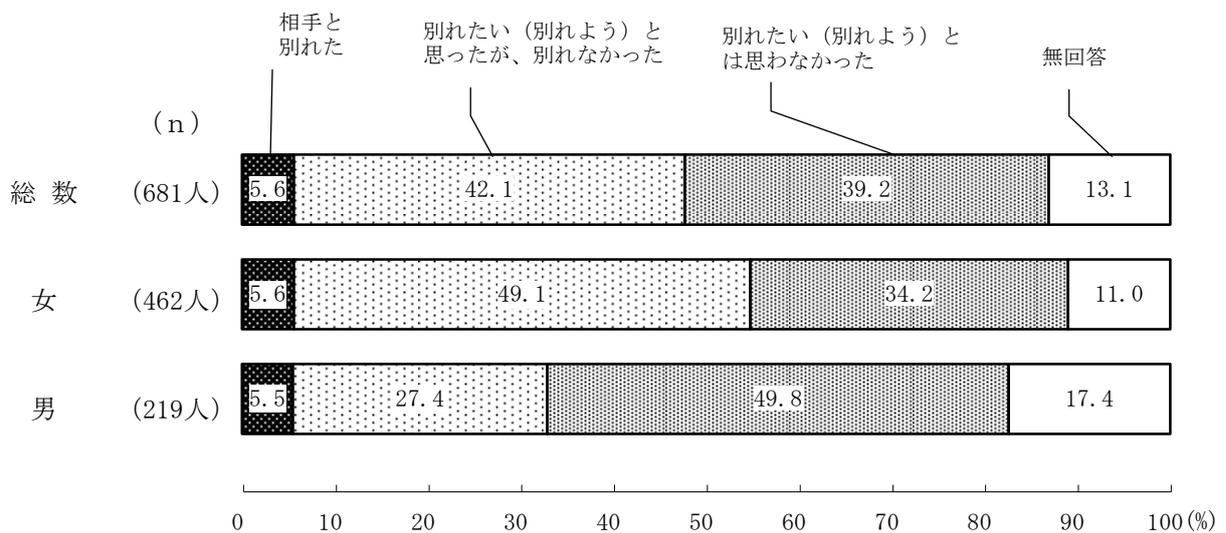
(5) 最初に被害を受けた時の行動

これまでに配偶者から被害を受けたことのある人（681人）に、その行為を初めて受けた時の行動を聞いたところ、「相手と別れた」が 5.6%、「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」が 42.1%、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」が 39.2%となっている。

男女別にみると、女性では「別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった」が 49.1%となっている。一方、男性では、「別れたい（別れよう）とは思わなかった」が 49.8%となっている。（図 3-5-1）

【配偶者から、問 5 の A～C の行為を受けたことがある方すべてにお聞きします。】
 問 9 あなたは、あなたの配偶者からそのような行為を最初に受けたころ、どうしましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。（○は 1 つ）

図 3-5-1 配偶者から最初に被害を受けた時の行動



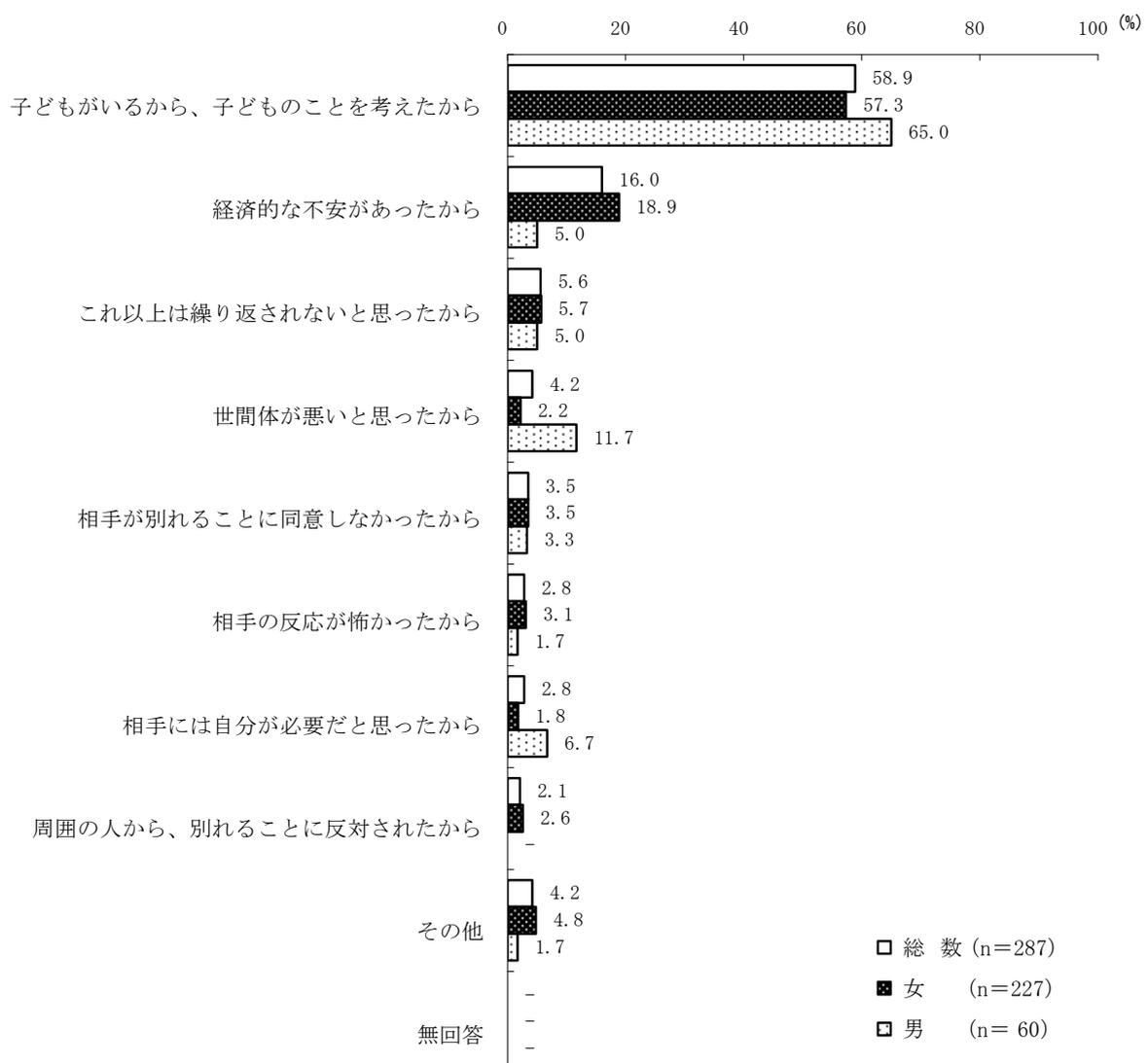
(6) 別れなかった理由

配偶者から被害を最初に受けたころ、相手と「別れたい（別れよう）」と思ったが、別れなかった」という人（287人）に別れなかった最も大きな理由を聞いたところ、男女とも「子どもがいるから、子どものことを考えたから」が最も多い。（図3-6-1）

【問9で「2 別れたい（別れよう）」と思ったが、別れなかった」と回答した方にお聞きします。】

問10 あなたが、相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-6-1 配偶者と別れなかった理由



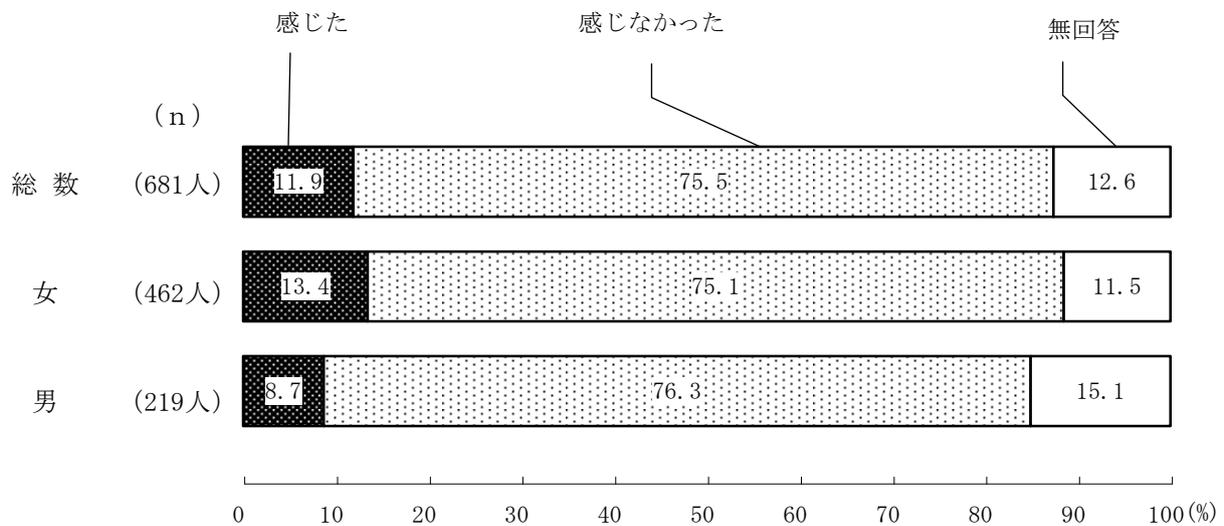
(7) 命の危険を感じた経験

これまでに配偶者から被害を受けたことのある人（681人）に、その行為によって命の危険を感じたことがあるかを聞いたところ、「感じた」は11.9%である。

男女別にみると、命の危険を「感じた」は女性の13.4%で、男性では8.7%である。（図3-7-1）

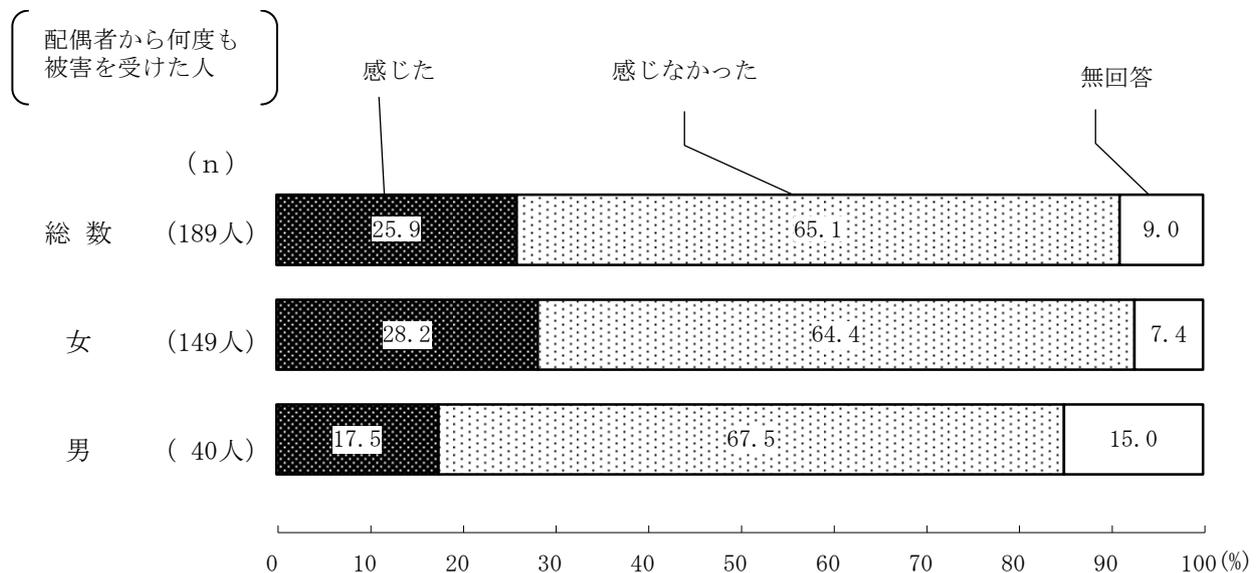
【配偶者から、問5のA～Cの行為を受けたことがある方すべてにお聞きします。】
 問 11 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から受けたそのような行為によって、命の危険を感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図3-7-1 配偶者からの被害により命の危険を感じた経験



さらに、これまでに配偶者から被害を何度も受けた人（189人）について男女別にみると、女性は命の危険を「感じた」が28.2%となっている。（図3-7-2）

図3-7-2 配偶者からの被害により命の危険を感じた経験



これまでに配偶者から被害を受けたことのない人も含め、結婚したことのある人（2,598人）でみると、命の危険を「感じた」は3.1%であり、女性が4.4%、男性が1.6%となっている。（図3-7-3）

図3-7-3 配偶者からの被害により命の危険を感じた経験

